

2023年度春学期 授業に関するアンケート総評

同志社女子大学 教育開発支援センター長
和氣 早苗

はじめに

「授業に関するアンケート」は、個々の授業改善を第一の目的として実施されているが、全体を俯瞰することにより、全学的な傾向や各学科の特徴を見ることができ、それによってカリキュラムの妥当性を確認したり、FDの方向性を見いだすことができると考えている。

今回は、教員に対するリクエストや授業外学習時間にも着目した。リクエストについては、約1/5の科目でスライドや板書の工夫が求められていることがわかった。話し方に対してのリクエストも次に多かった。

この項目含め、今回の「授業に関するアンケート実施結果報告書」より、結果のまとめ方を変更している。より見やすく、わかりやすく、比較しやすいことを目指しての変更であり、これまでも増して、科目ごとまた学科科目でも授業改善に活用していただけたらと願っている。

※アンケートの方法

- 原則として全科目で実施
- 授業第13,14,15週目での実施（2023年 7月 10日（月）～ 8月 6日（日））
- 「第14回目の授業開始時」の実施を推奨して教員に依頼
- マナビーを用いたオンライン形式
- アンケートの質問項目と回答方法は本報告末の付録 1 に記載

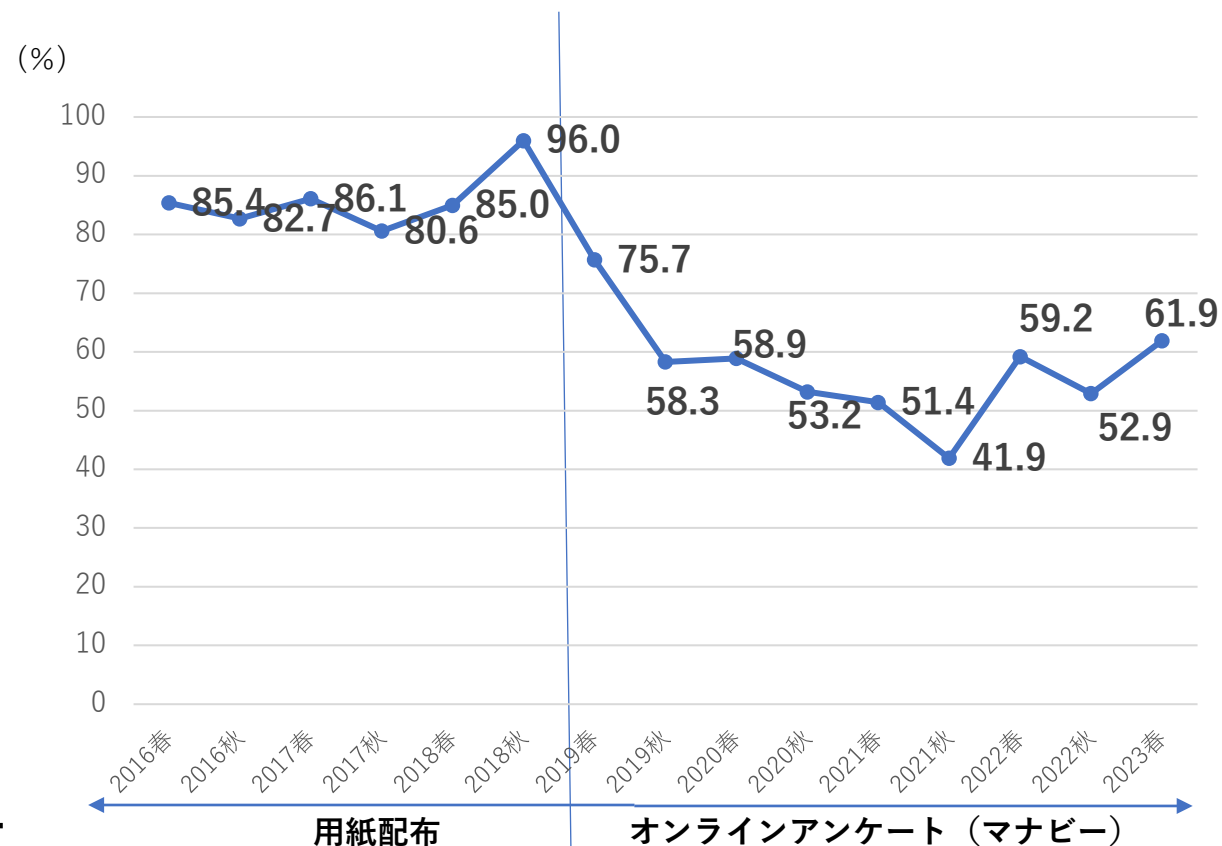
総評

今期授業アンケートの総評として以下の7点を挙げる。
各項目の詳細について次ページ以降に述べる。

- (1) 回答率61.9%, 4年ぶりに60%を超えるも…**
- (2) 対面授業の回答率がオンライン授業より高い**
- (3) 全学総評価平均はますます良好**
- (4) 19%の科目でスライド/板書の工夫が必要**
- (5) 授業外学習は管理栄養士、薬学が多い**
- (6) 授業で向上した力(DWCLA10)は思考力**

(1) 回答率61.9%, 4年ぶりに60%を超えるも…

- 回答率… 61.9% 4年(8学期)ぶりに60%を回復
 - オンライン化してから2番目に高い回答率
 - ただし今回、締切日の回答率は34.1%であった。
 - 締切を2日間延長
 - 全学生に直にメールで回答を促した
- ↓
- 教員を介しての、回答キャンペーン（教員に対しての14週目の実施依頼メール等）の効果は、なかったと言っていいだろう。
 - 次期には、直接学生に向けた新たな回答率向上対策を検討、実施する。



(2023年度春：のべ履修者数61,197, 回答数37,871)

授業アンケート回答率の推移

(2)対面授業の回答率がオンライン授業より高い

- 対面授業の方が回答率が高い
- 今回、回答の約半数は回答を促すメール以降の回答だったにも関わらず、それでも対面授業の方が20ポイント程度回答率が高かった。
- 教員が直接対面で回答を促す効果のみならず、授業を通しての教員との距離感というのも回答率に影響しているかもしれない。

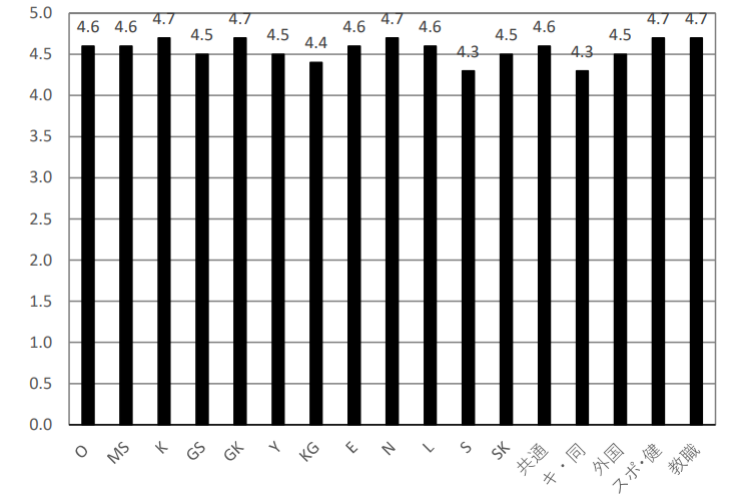
授業アンケート回答率

オンライン授業	44.30%
対面授業	64.60%
全体	61.90%

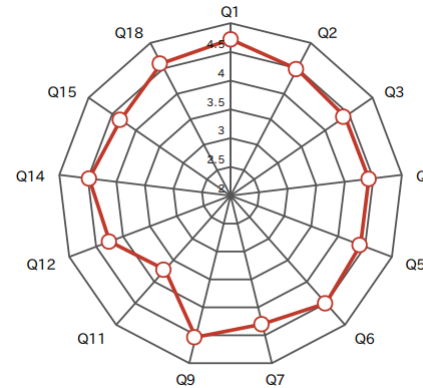
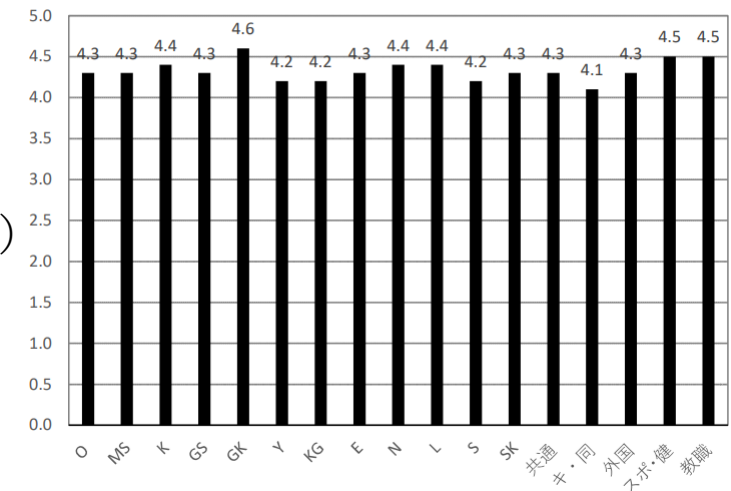
(3) 全学総評価平均はますます良好

- 全体俯瞰では、ほとんどの質問で平均評価4を超えており、総括としてはますます良好な結果と思われる。
- 特に、授業に対する満足度を問うQ9、到達目標を達成できたと思うかを問うQ15、の評価が学科を問わず良好である点、評価してよいと思われる。
- 平均評価4を下回るQ11は「積極的な意見表明や質問」を問うものである。每期あまり変化なく同程度の評価となっている。授業の内容にもよるかと思うが、アクティブ・ラーニングなどの導入や質問しやすい仕組みなど、工夫の余地はあると考えられる。

Q9 満足度



Q15 到達目標達成度

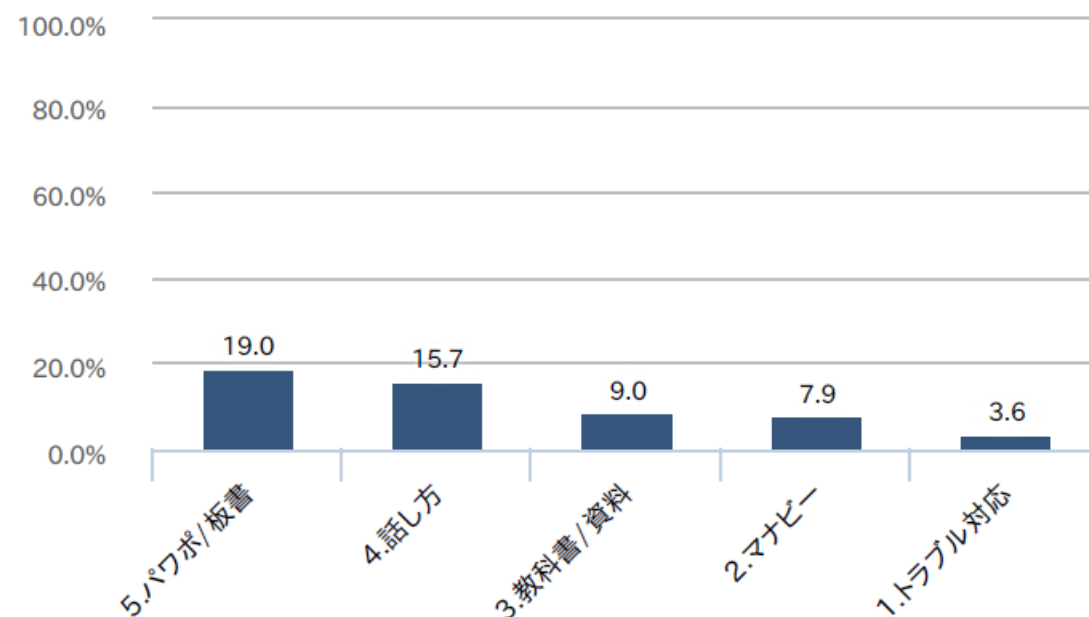


全学評価平均
(各質問項目は付録1参照)

満足度（上）、到達目標達成度（下）
学科別平均

(4)19%の科目でスライド/板書の工夫が必要

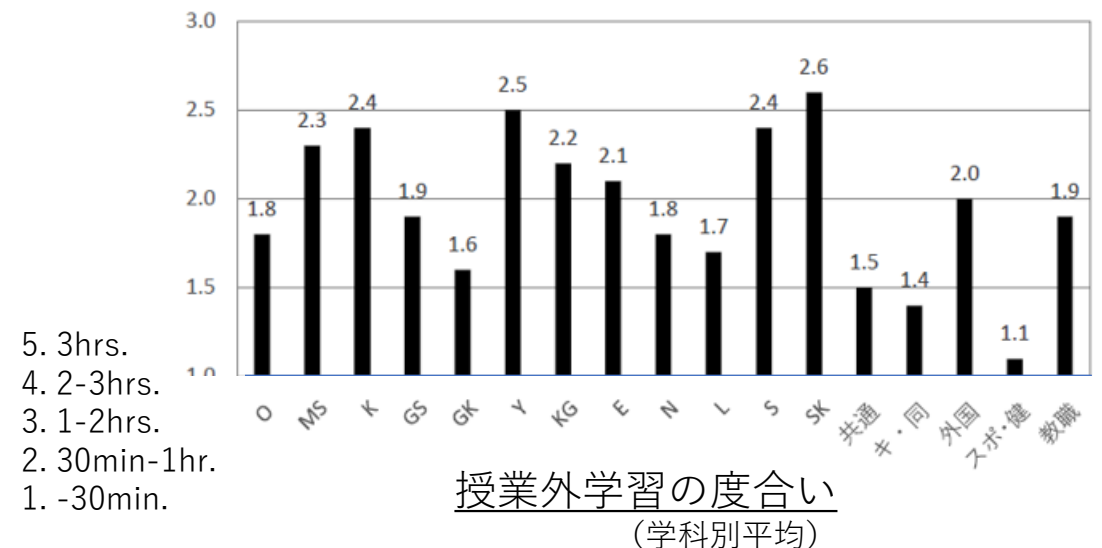
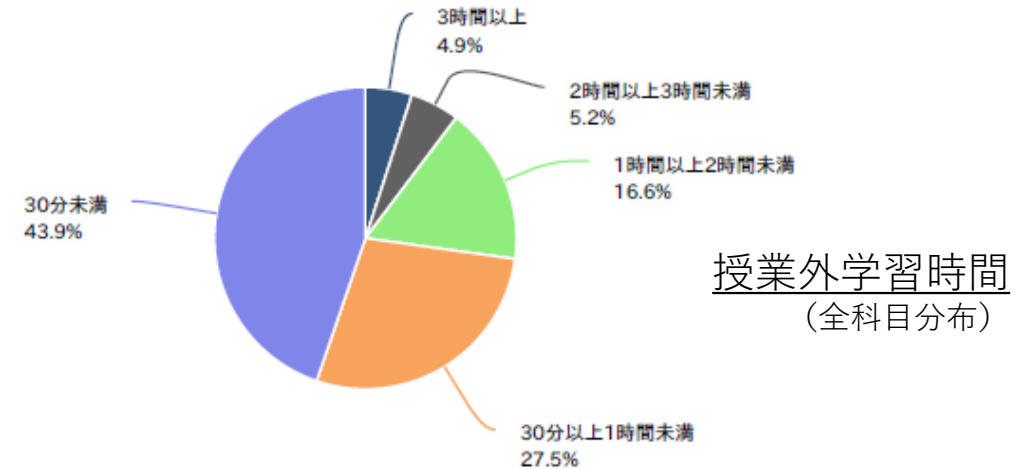
- 授業で工夫してほしいと思ったところは、**提示スライドや板書**が最も多く全科目の19%、次いで**話し方**が15.7%
- 全科目の1/5で提示スライドや板書についての改善が指摘されているのは、多いと言えるのではないかと。教員の努力が求められる。



工夫してほしいと思ったところ (全学)
(複数選択可)

(5) 授業外学習は管理栄養士、薬学が多い

- 約70%の科目は、授業外学習時間が1時間未満
- 約5%の科目は、授業外学習時間が3時間以上
- 学科比較では、管理栄養士専攻、医療薬学科、食物科学専攻など理系の学習時間が長いが国際教養学科も並んで多い。
(グラフの縦軸は学習時間ではないので注意)



(6) 授業で向上した力(DWCLA10)は思考力 (全学平均)

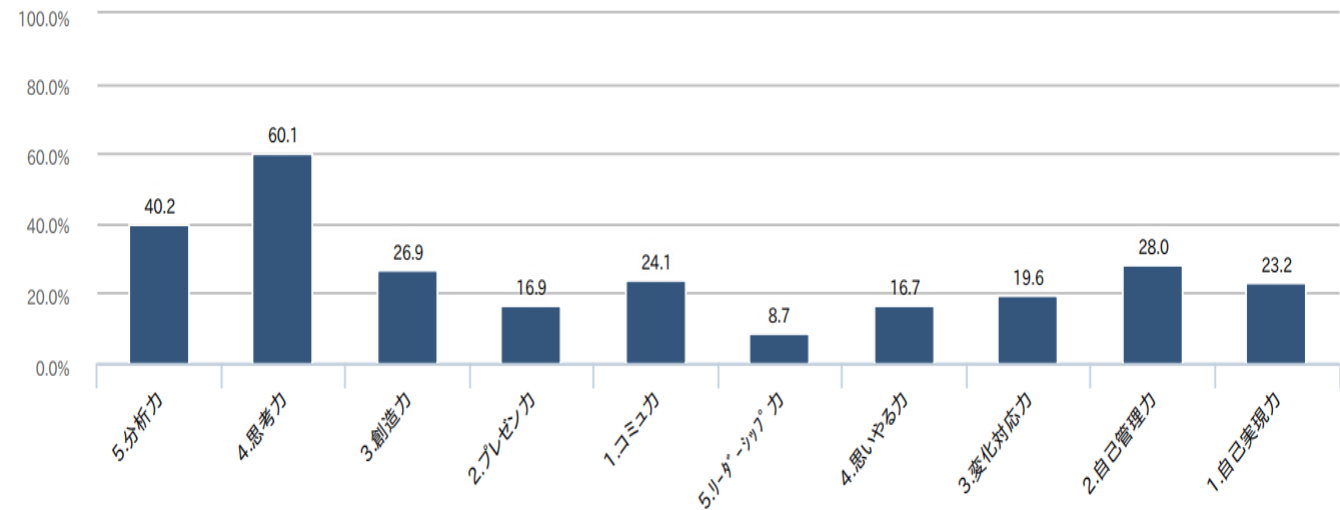
- 授業で伸びたと感じる力は、
思考力(60.1%が選択)が最も多く、次いで
分析力(40.2%)であった。

→分析と思考は基礎として必要な力で、多くの授業で対象となる力でもあるため、多く選択されたと考えられる。

- 残りの項目についてはいずれも30%を下回っている。

→それぞれの授業に特徴があるため、必ずしも全体平均が高くある必要はないものの、これからの時代に特に必要だとされる、**コミュニケーション力**、**プレゼンテーション力**などの力をつけるための授業の増加や、各授業内での工夫は望まれる。

Q16Q17DWCLA10のうち、この授業の履修を通してその獲得や工場に役立ったと感じられるもの(n=37871)



授業によって向上が感じられた力 (DWCLA10) (%)

おわりに

2023年度春学期の授業に関するアンケートの総評として、6項目を挙げ、その内容について述べた。

アンケート回答率を上げるため、3期にわたり教員に対しての回答率向上のキャンペーンを行ったが、今後は直接学生に対して訴えかける方法を検討する。

今回アンケート結果のまとめ方を見直し、学生が工夫を求めていることや授業外学習時間など、これまでよりも見やすくなったのではないかと思っている。各教員が個別の結果に基づいて授業改善を行っていただくことはもちろんだが、学科、学部あるいは全学的な授業改善およびカリキュラムの変更などにおいても、本授業アンケートを利用していただけたらと考えている。

付録1：アンケート項目 と 回答基準(次ページ)

Q1	授業内容はシラバスに合っていましたか。
Q2	受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
Q3	授業レベルは自分に合っていましたか。
Q4	教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたが。
Q5	提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
Q6	言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたが。
Q7	自主学習を促す工夫がなされていましたが。
Q8	工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。 1.分かりやすいパワーポイントや板書 2.聞き取りやすい話し方 3.教科書や配布資料の活用 4.マナビーの活用 5.トラブルへの対応
Q9	この授業は全体として満足できる内容でしたか。
Q10	この授業の予習、復習、自主学習（授業時間90分を除く）に1週当たり平均どれくらい時間をかけましたか。
Q11	あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
Q12	あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
Q13	あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。 1.授業内容に興味・関心があった 2.授業方法に興味・関心があった 3.成績評価方法・基準に興味・関心があった 4.先輩や友人等の勧め 5.卒業又は免許・資格の取得に必要なだから
Q14	到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたが。
Q15	あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
Q16	DWCLA10の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。*15番と16番は1つの質問として回答してください。 1.分析力 2.思考力 3.創造力 4.プレゼンテーション力 5.コミュニケーション力
Q17	（16番続き）DWCLA10のうち、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可） 1.リーダーシップ 2.思いやる力 3.変化対応力 4.自己管理力 5.自己実現力
Q18	※遠隔で授業が行われた場合のみ回答してください。 遠隔での授業は滞りなく行われましたか。
Q19	任意項目
Q20	自由記述欄（上記回答の理由など、特記事項があれば記入してください。）

【回答基準】 Q1～Q7、Q9、Q11～Q12、Q15、Q18 Q14

5:そう思う Agree 4:ややそう思う Somewhat Agree 3:あまりそう思わない Somewhat Disagree 2:そう思わない Disagree その他:未回答 Unanswered

Q8:

5.分かりやすいパワーポイント板書 Effective use of teaching aids such as power point slides or boardwork

4.聞き取りやすい話し方 Clear and strong voice

3.教科書や配布資料の活用 Effective use of textbook and handouts

2.マナビーの活用 Effective use of Manavi system

1.トラブルへの対応 Trouble shooting

その他:未回答 Unanswered

Q10:

5.3時間以上 3hrs. or more.

4.2時間以上3時間未満 2hrs. to less than 3hrs.

3.1時間以上2時間未満 1 hr. to less than 2hrs.

2.30分以上1時間未満 30min. to less than 1 hr.

1.30分未満 less than 30min.

その他:未回答 Unanswered

Q13:

5.授業内容に興味・関心があった Interest in the class contents

4.授業方法に興味・関心があった Interest in the method of class instruction

3.成績評価方法・基準に興味・関心があった Interest in the grading method

2.先輩や友人等のすすめ Recommendation from seniors or friends

1.卒業又は又は免許・資格取得のための必修科目だから Requirement for the graduation and specific license or qualification

その他:未回答 Unanswered

Q16:

5.分析力 Analytical ability 4.思考力 Thinking power 3.創造力 Creative ability 2.プレゼンテーション力 Presentation skill 1.コミュニケーション力 Communication skill

その他:未回答 Unanswered

Q17:

5.リーダーシップ力 Leadership 4.思いやる力 Capacity for compassion 3.変化対応力 Responding to change 2.自己管理能力 Self-management power

1.自己実現力 Ability for self-realization その他:未回答 Unanswered

付録2：学科および科目区分の略称

略称	学科および科目区分
O	音楽学科科目
MS/J	メディア創造学科/情報メディア学科科目
K	国際教養学科科目
GS	社会システム学科科目
GK	現代こども学科科目
Y	医療薬学科科目
KG	看護学科科目
E	英語英文学科科目
N	日本語日本文学科科目
L	人間生活学科科目
S	食物栄養科学科食物科学専攻科目
SK	食物栄養科学科管理栄養士専攻科目
共通	共通学芸科目
キ・同	キリスト教・同志社関係科目
外国	外国語科目
スポ・健	スポーツ・健康科目
教職	教職科目